

# 英語での留学生教育の意義と課題

- 立命館大学経済学研究科
- 稲葉和夫

- **アウトライン**
- 1. 立命館大学における留学生プログラム
- 2. 経済学研究科の英語プログラム
- 3. 留学生教育から見えてきたもの
- 4. 今後の課題

# 1. 立命館大学の留学生プログラム

## 1 - 1 学生規模

Ritsumeikan University Enrollment (as of May 2004)

---

• Undergraduate Students(学部学生)	31,388
• Graduate Students(大学院生)	2,713
Master's Program(修士課程)	2,177
Doctoral Program(博士課程)	273
Five-year Doctoral Program	97

(留学生)

Including 618 International Students from 12 countries  
from P. R. of China

Undergraduate Students	456 (学部)	314
------------------------	----------	-----

Graduate Students	162(大学院)	72
-------------------	----------	----

# 1 - 2 教職員構成

## Ritsumeikan University Faculty(教員) 1,116

---

- Visiting Professors(客員教授) 129
  - Professors(教授) 578
  - Associate Professors(助教授) 152
  - Assistant Professors(助手) 10
  - Lecturers(常勤講師) 38
  - Research Associates 120
  - Lecturers in Foreign Languages(外国語常勤講師) 37
  - “Shokutaku” Full-Time Foreign Language Instructors (囑託教員) 52
- 

## Staff(職員)

---

- Ritsumeikan University(総数) 742
  - Administrator(専任職員) 422
  - Contract Employee(契約職員) 320

# 1 - 3 立命館大学の国際交流協定

## Ritsumeikan Partner Institutions - A global network



43 countries, 144 universities & other institutions  
(as of March 2004)

# 1 - 4 海外への送り出し Study Abroad Programs



**University of British  
Columbia**

Rits/UBC Academic Exchange Program

100 students/year, 8 months, 2<sup>nd</sup> year program

Rits/American Univ. Dual Degree Program

30 students/year, 2 years or more

Student Exchange Program

50 students/year, 1 year, partner institutions

(5 universities in P. R. of China)

Intercultural Exchange Program

300 students/year, 5 weeks, 12 countries

International Co-op Program



**American University**

# 1 - 5 海外からの受け入れ

## International Programs



### International Students

Attend Ritsumeikan as long-term international students for 4 years as either undergraduate students or graduate students.

### Study in Kyoto Program (Exchange Students)

Attend Ritsumeikan as exchange students on a short-term basis (i.e. one year or less) in the Study in Kyoto Program.

### Ritsumeikan Summer Japanese Program (RSJP)

4 week- Japanese & Japanese Culture Program by Center for Language Acquisition (CLA).



# 1 - 5 英語による大学院講義

## Courses offered in English for Master's Degree

International Technology and Management(理工学研究科)

2001年9月～ 在籍者45名(うち博士課程7名)

Master's Program in Economic Development (経済学研究科)

2002年9月～ 在籍者16名

Global Cooperation Program (国際関係研究科)

2003年4月～ 在籍者18名

M.A. in Regional Policy and Planning (政策科学研究科)

2004年4月～ 在籍者4名

International Advanced Social Science Programs

& Advanced Social Ethics Programs(研究科横断プログラム)



# 2 経済学研究科の英語プログラム

## 2 - 1 プログラムの概要

### Master's Program of Economic Development (MPED)

研究科4つのプログラムの一つ

2002年9月JICA無償支援事業の留学生4名を受け入れ  
(バングラディッシュ2名、ベトナム2名)

2004年10月現在 16名在籍

### プログラムの目的

国際的に通用する経済学の理論・応用を身につけさせる  
調査実習などを通して日本の社会経済の現実を理解させる  
母国の経済発展への寄与、日本との架け橋

## 2 - 2 カリキュラムの概要

- (今年度入学生の場合)
- 1年次(2004年10月～2005年7月)
- **共通科目中心の受講**
  - 基礎科目:ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学
  - 日本経済論
  - 基礎セミナー:論文テーマの指導、アカデミックライティング、フィールドワーク
- 2年次(2005年10月～2006年7月)
  - 選択科目の履修
  - 論文指導
  - インターンシップ
- **担当体制:選任教員中心**

# 3 留学生教育から見えてきたもの

## 3 - 1 留学生からの不満

- 研究指導が1年次よりないことへの不満
- 他研究科、他大学との比較 (修士論文作成への不安)
- 科目の選択幅が1年次に少ないことへの不満  
何で基礎科目ばかり履修しなければいけないのか？
- 日本人学生と交流がないことへの不満
- 当初日本人学生の履修はなく、留学だけの講義となっていた。
- インターンシップなど学外実習の機会が少ないことへの不満

## 3 - 2 不満への対応と留学生との討論

- **対応**
- 教員間の日常的な情報交換による留学生の状況把握
- 担当者会議を通じての方針策定
- 現地面接において研究科の教育内容を強調する
- 留学生交流企画への教員の積極的参加
- 集中講義科目(夏季)での日本人学生参加の工夫
- 春休みなどを利用したスタディーツアーの企画(民間組織、  
社会人学生卒業生の協力)
- 修士論文策定のスケジュールを明確化
- **留学生との討論**
- 国際的なレベルと比較して基礎学力の不足を認識させる
- テーマを確定して研究指導を受けることの重要性

## 3 - 3 留学生教育から見えてきたもの

- 日本人学生との交流
- 留学生のみならず、日本人学生の国際的理解を深めるためにも重要。
- スタディーツアー
- 留学生が日本への理解を深めようとするだけでなく、研究面でも日本経済を視野に入れたテーマ設定が進む。
- さまざまな組織との連携により留学生教育の多様なメニューが可能となる。
- スタディーツアー参加者による留学生教育の理解。

## 4 今後の課題

- 日本人学生を含めたプログラムへの展開
- 2006年度より研究科の改革
- 2005年度後期よりADB奨学生の受け入れ
- **スタディーツアーの新たな展開**
- 企業、自治体、民間組織との連携
- **他大学大学院生との交流**
- 今年11月には一橋大学大学院とのセミナーが実現
- 来年2月にはIDEAS(アジア経済研究所)との交流予定
- **インターンシップへの積極的参加**
- 今年初めてUFJへのインターンシップが実現
- 企業からの支援、企業との連携の必要性
- **留学生教育への新たな理解**